

平成16年(2004年)新潟県中越地震(第29報)

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもある。

1. 本省及び地整等の体制について

国土交通本省 10月23日 17:56 非常体制 <u>10月24日 7:50</u> <u>非常災害対策本部(本部長:事務次官)</u>	北陸地方整備局 <u>10月23日 18:00 非常体制</u> 関東地方整備局 10月23日 18:00 警戒体制 10月24日 13:00 注意体制 10月27日 10:45 警戒体制 <u>16:30 注意体制</u> 東北地方整備局 10月23日 18:00 警戒体制 20:40 注意体制 10月24日 10:40 体制解除 10月25日 6:10 注意体制 8:45 体制解除 <u>10月27日 10:40 注意体制</u> <u>14:00 体制解除</u> 国土地理院 <u>10月23日 18:30 災害対策本部設置</u>	東北運輸局 10月23日 17:56 警戒体制 21:00 注意体制 10月25日 10:00 体制解除 <u>10月27日 10:40 警戒体制</u> 14:00 注意体制 <u>17:00 体制解除</u> 関東運輸局 10月23日 18:00 警戒体制 10月24日 19:00 注意体制 10月27日 10:43 警戒体制 <u>10月28日 13:00 注意体制</u> 北陸信越運輸局 <u>10月23日 18:00 非常体制</u>
---	--	--

2. 地震概要

平成16年10月23日に発生した最大震度6弱以上の地震

17:56 M6.8 震度7 : 川口町 震度6強 : 小国町、小千谷市、山古志村
 震度6弱 : 刈羽村、中里村、川西町、入広瀬村、守門村、広神村、堀之内町、三島町、越路町、栃尾市、十日町市、長岡市

18:11 M6.0 震度6強 : 小千谷市 震度6弱 : 小国町

18:34 M6.5 震度6強 : 小国町、川口町、十日町市
 震度6弱 : 中里村、川西町、大和町、六日町、入広瀬村、広神村、堀之内町、小千谷市、松代町、安塚町

19:45 M5.7 震度6弱 : 小千谷市

平成16年10月24日に発生した最大震度5弱以上の地震
14:21 M5.0 震度5強：小千谷市

平成16年10月25日に発生した最大震度5弱以上の地震
0:28 M5.3 震度5弱：小千谷市
6:04 M5.8 震度5強：小千谷市、堀之内町、入広瀬村、守門村
震度5弱：長岡市、三島町、広神村、刈羽村

平成16年10月27日に発生した最大震度5弱以上の地震
10:40 M6.1 震度6弱：入広瀬村、守門村、広神村
震度5強：小国町、六日町、広神村、湯之谷村、小出町、堀之内町、三島町、
越路町、栃尾市、小千谷市、長岡市
震度5弱：燕市、刈羽村、大和町、出雲崎町、和島村、与板町、中之島町、栄町、
見附市、安塚町、上越市、北橋村、沼田市、只見町

平成16年11月4日に発生した最大震度5弱以上の地震
8:57 M5.2 震度5強：越路町浦、新潟三島町上岩井
震度5弱：小千谷市城内、与板町与板、刈羽村割町新田、西山町池浦

平成16年11月8日に発生した最大震度5弱以上の地震
11:16 M5.8 震度5強：魚沼市須原（旧守門村須原）
震度5弱：栃尾市大町 中之島町中之島 川口町川口 魚沼市穴沢（旧入広瀬村穴沢）

平成16年11月10日に発生した最大震度5弱以上の地震
3:43 M5.3 震度5弱：見附市

3. 政府の対応(下線部は前回からの変更箇所)

- 官邸対策室18:00設置
- 緊急参集チーム会議19:00~23:47
- 防災大臣記者会見19:25
- 政府先遣隊21:05市ヶ谷発、23:00現地到着(23日)
- 現地連絡調整室設置(23日)→現地支援対策室に格上げ(25日)
- 災害対策関係省庁連絡会議開催(24日 1:30)
- 政府調査団を24日派遣
- 平成16年(2004年)新潟県中越地震政府非常災害対策本部設置(24日 7:50)
- 政府非常災害対策本部第一回会合開催(24日 9:30)
- " 第二回会合開催(24日 12:45)
- " 第三回会合開催(25日 17:30)
- " 第四回会合開催(26日 19:00)
- " 第五回会合開催(27日 16:00)
- " 第六回会合開催(28日 18:00)
- " 第七回会合開催(29日 17:00)
- " 第八回会合開催(30日 15:00)
- " 第九回会合開催(31日 15:00)
- " 第十回会合開催(11月1日 17:30)
- " 第十一回会合開催(11月2日 17:30)
- " 第十二回会合開催(11月3日 15:00)

- " 第十三回会合開催(11月4日 17:00)
- " 第十四回会合開催(11月5日 17:00)
- " 第十五回会合開催(11月6日 15:00)
- " 第十六回会合開催(11月8日 17:00)
- " 第十七回会合開催(11月10日 18:00)
- " 第十八回会合開催(11月12日 17:40)
- " 第十九回会合開催(11月15日 16:00)
- " 第二十回会合開催(11月17日 17:00)
- " 第二一回会合開催(11月19日 17:00)

4. 国土交通省の対応(下線部は前回からの変更箇所)

【現地視察】

- 国土交通大臣が現地視察(10月24日)
- 岩井国土交通副大臣が現地視察(10月28日～30日)
- 蓮実国土交通副大臣が現地視察(10月30日)
- 政府調査団として、河川局防災課長及び道路局高速国道課長を派遣(10月24日)
- 中野国土交通大臣政務官、伊達国土交通大臣政務官が現地視察(11月17日)

【本部会議】

- 平成16年(2004年)新潟県中越地震国土交通省非常災害対策本部設置(10月24日 7:50)
- 国土交通省非常災害対策本部第一回本部会議開催(10月24日 9:00)(大臣・副大臣出席)
- " 第二回本部会議開催(10月24日 18:30)(大臣・副大臣・政務官出席)
- " 第三回本部会議開催(10月24日 21:00)(")
- " 第四回本部会議開催(10月26日 16:45)
- " 第五回本部会議開催(10月27日 12:30)
- " 第六回本部会議開催(10月29日 17:30)
- " 第七回本部会議開催(11月1日 17:00)
- " 第八回本部会議開催(11月5日 17:20)
- " 第九回本部会議開催(11月12日 16:45)
- " 第十回本部会議開催(11月19日 17:30)

【要請・方針等】

- 新幹線脱線対策協議会を設置し、当面取り得る対策の検討を開始(10月25日)
新幹線を有するJRに対し、大臣から、「原因究明を待たず可能な
対策から行うこと」及び「高架橋の耐震性の総点検、補強計画の前倒し」を指示。(29日)
- 新潟空港24時間運用(10月27日～11月11日)
- 被災者の宿泊受け入れ協力を宿泊関係団体に要請(10月28日～)
- 国道291号(県管理)について国が直轄事業として災害復旧事業を実施(直轄権限代行)
- 自衛隊からの要請を受け、11月8日より国営越後丘陵公園の一部区域を被災地支援のための
指揮・命令本部、救援物資基地等用地として提供
- 臨時の地震予知連絡会を開催し、断層モデルを公表(国土地理院)(11月4日)
- 災害査定の迅速な執行を図るため、設計積算の簡素化(総合単価の適用拡大等)、机上査定の適用拡大、
保留金額の大幅な引き上げ等、査定業務の簡素化を実施(11月17日)

【専門家の派遣(本省)】

- 航空・鉄道事故調査委員会が調査官を現地に派遣(10月23日)

- 河川局災害査定官を現地に派遣(10月24日)
- 国総研・土研等から砂防専門家及び河川局砂防部保全課等から担当官を派遣(10月24日～26日)
- 国土交通省下水道部下水道事業調整官、国土技術政策総合研究所下水道研究部研究官4名及び日本下水道事業団より職員10名を派遣(10月24日～26日)
この結果をふまえ、「新潟県中越地震下水道災害復旧支援本部」を新潟県、北海道、東北各県及び及び政令指定都市等と共同で設置し、技術的助言等を実施(10月28日)
- 政府の現地対策室に道路局保全企画官、北陸地方整備局道路情報管理官を派遣(10月24日)
河川局砂防部砂防計画課火山・土石流対策官を派遣(10月26日)
- 10月27日より、(独)土木研究所から砂防専門家を派遣し、長岡市妙見地先の土砂崩落により埋没した自動車の救出作業における安全確保について、技術指導を実施(10月26日～)
- 新潟県からの要請に基づき、国土交通省河川局砂防部、土研、新潟県、砂防ボランティア等よりなる、「土砂災害対策緊急支援チーム」を派遣し(延べ508人)、土砂災害危険箇所等の点検実施(10月27日～31日)点検結果の報告を、11月1日に新潟県に提出。緊急的な対策が必要な箇所は112箇所。

【専門家の派遣(本省以外)】

- 公共土木施設の災害復旧業務の応援のため、新潟県の要請に基づき、16都道県庁の職員合計55名が2週間(11月1日～15日)新潟県に派遣
- 国総研・土研の道路専門家(トンネル等)を派遣し、新潟県等の要請する被災箇所について応急復旧に対する支援を実施(10月25日)
- 地殻変動によって変動した基準点の緊急測量を実施(国土地理院)
- 北陸地方整備局に「新潟県中越地震による市町村道の道路の復旧支援本部」設置(10月29日)し、10月31日から123名の職員等を派遣し市町村道の災害状況の緊急調査を支援
- 市町村の災害復旧支援のために、地方整備局(東北、関東、北陸)より約70名応援派遣(11月8日～)

【貸与・提供】

- 北陸地方整備局の斡旋により建設関係3団体が簡易トイレ869基(11月17日時点)を被災市町村に提供(10月26日～)
- 各地方整備局よりのべ照明車14台、造水車1台、衛星通信車1台、災害対策本部車2台、排水ポンプ車15台を現地に派遣。
(うち北海道開発局排水ポンプ車6台、東北地整照明車5台・ポンプ車6台、関東地整照明車5台・衛星通信車1台・災害対策本部車2台・ポンプ車1台、中部地整照明車4台、近畿地整造水車1台・ポンプ車2台)
- 九州地方整備局より、簡易遠隔操縦装置(ロボQ)3台支援
- 山古志村通信確保のため山古志村に衛星携帯電話を貸与(10月26日)
- 自治体への情報提供として、被災箇所の映像を管理用光ケーブルにより新潟県に配信(10月26日)
- 自治体への情報提供として、小型衛星伝送システム等を使用して芋川の映像を新潟県、小出振興局、長岡振興局に配信(10月30日)、旧堀之内町役場、川口町役場に配信(10月31日)、また芋川の水位計、ワイヤーセンサー情報を旧堀之内町役場に配信(11月9日)
- 航空機「くにかぜ」による空中写真撮影を10月24・28日に実施し、関係機関に配布(国土地理院)
- 長岡・十日町の災害対策用地図を作成し、関係機関に配布(国土地理院)
- 斜面崩壊、天然ダム等を記した山古志村の災害対策用地図を作成し、関係機関に配布(国土地理院)

【住宅・宅地関係】

- 被災建築物応急危険度判定業務を10月24日から実施中。(11月10日までに36143件実施)概ね判定を終了。
- 応急危険度判定業務の指導及び建築物の被害調査等のため、住宅局及び国総研、建築研究所職員、地方整備局の判定士を現地に派遣(10月24日～)
- 応急危険度判定の技術的指導や住宅復興融資の相談等に対応するため、建築指導課、都市再生機構、住宅金融公庫及び関係団体の職員(29名)を派遣、活動を開始。(10月24日～)

- 関係団体において被災住宅の補修相談窓口を設置(10月24日正午から開設)。また、現地においても相談窓口を設置。
- 被災者の住宅確保について公営住宅の空家(185戸を確認)の提供
また、全国の公共賃貸住宅の空家の情報を提供
- 住宅金融公庫において、25日より災害復興住宅融資を募集するとともに、窓口金融機関での相談窓口を整備。また、現地においても相談窓口を設置。
- 新潟県知事からの要請により、建築住宅関係の復興を総合的に支援するため、市街地住宅整備室長、木造住宅復興室長及び市街地建築課高度利用調整官を派遣(10月26日)
- 応急仮設住宅の建設については、(社)プレハブ建築協会において建設を決定
順次工事に着手。
- 応急仮設住宅を含め、公営住宅等公共賃貸住宅や民間住宅の空家情報の一元的な提供に向け、新潟県において「空家情報センター」を設置。1日からフリーダイヤルで対応。
- 全国の大工等の建設技能者による住宅修繕支援隊を開設
- 被災住宅に関する相談所を開設し、様々な相談に対応。(10月28日から)
- 被災宅地危険度判定業務の指導及び宅地の被災状況調査のため、都市・地域整備局、建築研究所及び都市再生機構職員6名を現地に派遣(10月26日)

【芋川の河道閉塞対策】

- 新潟県の土砂災害による被害状況把握のため、ヘリ調査及び地上調査を実施(10月24日～)
- 「山腹崩壊による天然ダム緊急調査チーム」を設置し、河道閉塞に対する現地確認と対応策への助言を実施(10月28日)
- 新潟県の実施する応急対策を支援するため、排水ポンプ、監視カメラを設置(10月30日～)
- 新潟県知事からの要請を受け、山古志村東竹沢地区、寺野地区の2地区に形成された河道閉塞対策について、緊急的に直轄砂防災関連緊急事業として実施することを決定(11月5日)
- 応急対策として、越流防止工を実施するとともに、融雪出水に対応した仮排水路の設置準備中(11月6日～)
- 11月12日に北陸地整湯沢砂防事務所内に山古志村河道閉塞現地対策室を設置し、国土交通本省より河川局砂防部保全課長を派遣。

5. 所管施設等の状況

○道路(11月19日 12:00現在)

1) 高速道路

① 関越道

- ・11月5日をもって、全線にわたり一般車両の通行止め解除。
- ・長岡～小出については、上下線片側一車線での運用。4車線化に向け、引き続き復旧作業中。

② 北陸道 応急復旧が完了し、10月26日夜に全線通行止めを解除

2) 直轄国道

① 国道8号・・・10月24日までに全線で一般車両の通行確保

- ・中ノ島町～長岡市において、多数の段差 等

② 国道17号・・・和南津トンネルを除き、10月25日までにほぼ一般車両の通行を確保

11月2日に和南津トンネルの応急復旧工事が完了し、全線で一般車両の通行確保

- ・長岡市～小出町において、多数箇所の段差、路面陥没
- ・和南津トンネル(川口町、L=300m) コンクリート剥落、人的被害なし
→11月2日に、片側交互通行にて一般交通開放

- ・川口町天納地先の道路崩壊(L=約80m)

→10月29日に、迂回路を整備し、一般交通開放

③ 国道116号・・・10月24日までに全線で一般車両の通行確保

- ・柏崎市において、路面陥没

3) 県管理の国道・県道

○これまでの通行禁止区間は223箇所、129箇所が応急復旧済み。

残る通行禁止区間は94箇所。

○国道291号については、国が直轄事業として災害復旧事業を開始(直轄権限代行:11月11日工事開始告示)するとともに、復旧工事期間においては、降雪期間における除雪等、必要な維持管理を適宜行い、復旧・復興に必要な車両等の通行を確保。

4) 市町村道

○約2,200箇所が被災(11月11日新潟県集計)。

5) 孤立集落

○現在、孤立している地区は小千谷市、山古志村等で、20地区(11月19日9時現在)との情報。

○河川(11月19日 13:00現在)

被害状況(総括)

○震度6弱以上による被害の状況は下記の通り。

【平成16年10月23日17時56分発生等】

・直轄河川で点検対象となった水系は、最上川水系、利根川水系、荒川(関東)水系、信濃川水系、阿賀野川水系、関川水系、姫川水系、荒川(北陸水系)の8水系。
このうち信濃川水系において被害発生を確認。

・補助河川で点検対象となった県は、福島県、山形県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、山梨県、長野県、新潟県、石川県、富山県の12県。
このうち新潟県において被害発生の報告。

【平成16年10月27日10時40分発生】

・直轄河川で点検対象となった水系は、利根川水系、信濃川水系、阿賀野川水系、関川水系の4水系。
このうち信濃川水系において被害発生を確認。

・補助河川で点検対象となった県は、群馬県、埼玉県、新潟県、福島県の4県。
このうち新潟県において被害発生の報告。

【直轄河川】

整備局	水系	河川	被害状況(箇所)					計	応急対策完了 (箇所)	応急対策不要 (箇所)
			亀裂	沈下	法面崩壊	水門等施設				
北陸	信濃川	信濃川下流	1	0	0	0	1	1	0	
北陸	信濃川	信濃川	101	18	1	6	126	106	19	
北陸	信濃川	魚野川	45	6	2	5	58	54	4	
合計	1水系	3河川	147	24	3	11	185	161	23	

※1カ所は本復旧で対応中

【補助河川】

都道府県	水系	河川	被害状況(箇所)						計	応急対策完了 (箇所)	応急対策不要 (箇所)
			亀裂	沈下	法面崩壊	水門等施設	河道閉塞	噴砂			

新潟県	信濃川	刈谷田川	6	0	0	0	0	0	6	0	2
新潟県	信濃川	釜沢川	0	0	0	0	1	0	1	1	0
新潟県	信濃川	渋海川	2	0	2	0	6	0	10	2	7
新潟県	信濃川	朝日川	0	0	0	0	1	0	1	1	0
新潟県	信濃川	黒川	8	0	2	2	1	10	23	2	15
新潟県	信濃川 鯖石川 郷本川 島崎川	69河川	42	5	48	0	57	0	152	32	114
合計	4水系	74河川	58	5	52	2	66	10	193	38	138

※被害のあった河川 74河川

信濃川水系：刈谷田川、浦瀬川、釜沢川、稲葉川、渋海川、黒川、黒川流末川、朝日川、野辺川、茶郷川、道見川、田河川、和田川、越又川、破間川、芋川、赤沢川、東川、西川、小木城川、高鳥川、柿川、椿田川、太田川、湯殿川、国沢川、樽井川、逆谷川、鹿熊川、浦加桂川、相川川、寺沢川、魚野川、田沢川、辻又川、田河川、名木沢川、浄土川、山北川、表沢川、染屋川、郡又川、入間川、羽根川、槇沢川、猪川、当間川、鉢沢川、思川、芋川、入山沢川、越ヶ沢川、南沢川、曾根川、木島川、取安川、北沢川、鴻島川、貝喰川、桐沢川、野又川、榑沢川、小国沢川、焼田川、下貫川、貝野川

鯖石川水系：鯖石川、石黒川、石川、長鳥川

郷本川水系：郷本川

島崎川水系：島崎川、小木川

相場川水系：相場川

○震度5強以下の余震による被害はなし。

河川関係現地調査

○日 程：平成16年10月25～26日

○調査者：国土交通省国土技術政策総合研究河川研究室 主任研究官
 国土交通省国土技術政策総合研究河川研究室 研究員
 国土交通省国土技術政策総合研究地震防災研究室 主任研究官
 独立行政法人土木研究所耐震研究グループ（振動） 上席研究員
 独立行政法人土木研究所耐震研究グループ（振動） 研究員
 独立行政法人土木研究所材料地盤研究グループ（土質） 主任研究員

○ダム(11月12日 13:00現在)

●10月23日17時56分頃発生(マグニチュード7.0)

全国点検対象ダム	
直轄	10 ダム
機構	3 ダム
補助	30 ダム
利水	71 ダム
合計	114 ダム

分類	1次点検終了ダム	2次点検終了ダム	2次点検実施中ダム	異常報告確認ダム
直轄	10 異常報告なし	10 異常報告なし	0	0
機構	3 異常報告なし	3 異常報告なし	0	0
補助	30 異常報告なし	30 異常報告なし	0	0
利水	68 異常報告なし	68 異常報告なし	0	3 川西ダム

				長福寺ダム 坪山ダム
合計	111 ダム	111 ダム	0 ダム	3 ダム

異常報告ダムの状況 ○川西ダム(新潟県農地)

- ・堤体上流張ブロックにひび割れ、不等沈下及び濁りのある漏水を確認。農業専用ダムのため非灌漑期につき貯水量なし。26日に専門家による現地調査を実施。

○長福寺ダム(新潟県農地)

- ・堤体上流張ブロックにひび割れ及び濁りのある漏水を確認。農業専用ダムのため非灌漑期につき貯水量なし。26日に専門家による現地調査を実施。

○坪山ダム(新潟県農地)

- ・堤体と洪水吐の境界に段差が発生。農業専用ダムのため非灌漑期につき貯水量なし。26日に専門家による現地調査を実施。

その他貯水池(河道外) ○利水: 浅河原調整池(JR東日本, 河道外貯留施設)

(河道外のため上表に計上されていない。)

- ・堤体にひび割れ確認。浅河原地区4世帯に出された避難指示は25日(月)8時に解除。現在、貯水量はなし。25日に専門家による現地調査を実施。

○利水: 新山本調整池(JR東日本, 河道外貯留施設)

- ・堤体にひび割れ確認。現在、貯水量はなし。26日に専門家による現地調査を実施。

○利水: 山本調整池(JR東日本, 河道外貯留施設)

- ・調整池堰堤から濁りのある漏水を確認。現在、貯水量はなし。26日に専門家による現地調査を実施。

■ダムの状況(11月12日13時00分現在)

●余震による点検ダム数

余震	臨時点検ダム数				異常報告確認ダム
	直轄	機構	補助	利水	
11月10日3時43分頃発生(マグニチュード5.1)	0	0	3	4	

- ・対象7ダムで1次点検・2次点検終了、異常報告なし。

○土砂災害等の被害状況(11月19日13時00分現在)

都道府県名	発生災害※	発生件数※	人的被害※			家屋損壊数※			被害状況等※
			死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊	一部損壊	
	土石流等	21	0	0	0	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・山古志村寺野、家屋一部破損1戸、河道閉塞形成 ・山古志村南平河道閉塞形成 ・山古志村十二平河道閉塞形成

新潟県	地すべり	120	0	0	0	12	23	31	<ul style="list-style-type: none"> ・小千谷市浦柄、家屋全壊1戸 ・山古志村油夫(ゆふ)、家屋全壊3戸、集落孤立 ・山古志村竹沢、家屋全壊5戸 ・山古志村木箆(こごも)、家屋全壊1戸 ・山古志村木箆(こごも)、家屋半壊1戸、一部損壊1戸 ・十日町市樽沢、家屋一部損壊4戸 ・十日町市樽沢、家屋一部損壊2戸 ・山古志村南平河道閉塞形成 ・山古志村東竹沢河道閉塞形成 ・長岡市乙吉町鶴ヶ丘、家屋半壊20戸、一部損壊19戸 ・栃尾市中野俣、家屋一部損壊1戸 ・栃尾市下来伝、家屋一部損壊1戸 ・栃尾市半蔵金、家屋一部損壊2戸 ・小千谷市上片貝家屋半壊1戸、一部損壊1戸 ・小千谷市小栗山家屋全壊2戸
	がけ崩れ	116	4		1	2	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市・長岡市濁沢、死者2名、家屋2戸全壊 ・長岡市滝谷、家屋一部損壊1戸 ・長岡市鷲巣町、家屋一部損壊1戸 ・小千谷市浦ノ山、家屋一部損壊1戸 ・川口町中山、家屋一部損壊1戸 ・小国町諏訪井、家屋一部損壊1戸 ・三島町西谷、家屋一部損壊2戸 ・小千谷市ひ生(ひう)、家屋一部損壊1戸 ・川口町新敷、家屋一部損壊1戸 ・川口町西川口、家屋一部損壊2戸 ・長岡市妙見町、死者2名、負傷者1名 ・小千谷市茶合(ちゃごう)、家屋一部損壊1戸 ・長岡市浦瀬町、家屋一部損壊1戸
	合計	257	4	0	1	14	23	45	

※被害の詳細については確認中であり変わる事もある。

※特に人的・物的被害発生箇所について記載している。

※情報は新潟県からの情報に基づく。

※土石流の件数の中には現段階で山腹崩壊を含んでいる。

◎24日、新潟県へ被害の状況の把握のため、国土技術政策総合研究所砂防研究室、(独)土木研究所地すべりチーム・新潟試験所の砂防専門家及び本省河川局砂防部保全課の担当官を派遣し、ヘリ調査及び地上調査を実施。

◎25日、新潟県へ被害の状況の把握のため、国土技術政策総合研究所砂防研究室及び(独)土木研究所土砂管理グループから砂防専門家を派遣し、ヘリ調査を実施。

◎27日より、国土交通省河川局砂防部、(独)土木研究所から砂防専門家を派遣し、小千谷市浦柄地区土砂災害による自動車埋塞現場において救出作業における安全確保の技術指導を実施。

◎27日より、国土交通省河川局砂防部、(独)土木研究所、新潟県、砂防ボランティアより延べ500人を「土砂災害対策支援チーム」へ派遣し、新潟県内16市町村にて二次災害防止のため土砂災害危険箇所等の調査点検を実施。

◎28日より、国土技術政策総合研究所砂防研究室及び(独)土木研究所土砂管理グループから「山腹崩壊による天然ダム緊急調査チーム」へ砂防専門家を派遣し、河道閉塞に対する現地確認と対応策への助言を実施。

◎11月5日に新潟県からの要請に基づき、芋川流域の東竹沢地区及び寺野地区の対策を、直轄砂防災関連緊急事業で実施することを決定。

◎11月2日に北陸地整湯沢砂防事務所内に芋川河道閉塞現地対策室を設置し、本省より河川局砂防部保全課長を派遣。

○海岸(10月29日 14:00現在)

・点検対象及び点検状況

【直轄海岸】

整備局	都道府県	海岸名	概略点検		詳細点検	
			開始時間	終了時間	開始時間	終了時間
北陸	新潟県	新潟海岸	10/23	10/23 22:40 異常なし	10/24	10/24 11:50 異常なし

【補助海岸】

整備局	都道府県	海岸名	概略点検		詳細点検	
			開始時間	終了時間	開始時間	終了時間
北陸	新潟県		10/23	10/23 異常なし	10/24 点検中	
北陸	石川県		10/23	10/23 異常なし	10/24	10/24 18:50 異常なし

・被害状況

【直轄海岸】

・なし

【補助海岸】

整備局	都道府県	海岸	被害箇所	被害状況等	対策状況
北陸	新潟県	寺泊海岸 (山田地区)	寺泊町	護岸水たたき40mにわたり 沈下 (最大15cm)	検討中
北陸	新潟県	椎谷海岸	柏崎市	護岸水たたき30mにわたり 沈下 (最大30cm)	検討中

○鉄道(11月19日 13:00現在)

事業者名	線名	運転中止区間	主な被害状況等
	上越新幹線	越後湯沢～長岡	浦佐駅～長岡駅間で列車脱線 当該脱線箇所の軌道、締結装置に損傷 浦佐駅～燕三条駅間でトンネル、高架橋に損傷 上毛高原駅～越後湯沢駅間は27日10:40発生の地震により運転見合わせしていたが、12:41運転再開 燕三条駅～新潟駅間は30日6:10から運転再開 越後湯沢駅～燕三条駅間で31日朝から代行バスの運行開始 長岡駅～燕三条駅間は11月4日6:16に運転再開 長岡駅～新潟駅間は11月4日8:57発生の地震で運転見合わせしていたが、11:23運転再開

東日本旅客鉄道株	信越本線	柏崎～長岡	見附駅上りホームの一部陥没 越後広田駅～北条駅間で築堤崩壊 宮内駅1番、3番ホームで笠石移動 27日10:40発生の地震により北長岡駅～押切駅路盤陥没 長岡駅～東三条駅間は26日14:39から運転再開 黒姫駅～柏崎駅間は27日10:40発生の地震により運転見合わせしていたが、黒姫駅～直江津駅間においては、27日15:21運転再開、直江津駅～柏崎駅間27日17:12運転再開、長岡駅～東三条駅間27日20:11運転再開 柿崎駅～東三条駅は11月4日8:57発生の地震により運転見合わせしていたが、柿崎駅～柏崎駅間は11:26に、長岡駅～東三条駅間は12:14運転再開
	飯山線	十日町～越後川口	越後鹿渡駅～越後田沢駅間の信濃川橋梁付近で線路陥没 越後田沢駅～越後水沢駅間の七川橋梁付近で線路陥没 十日町駅～魚沼中条駅間の田川橋梁両端で地盤低下 魚沼中条駅ホームで笠石ずれ 魚沼中条駅～下条駅間で道床陥没、道床流出等 森宮野原駅～十日町駅間29日6:23朝夕時間帯のみ運転再開 森宮野原駅～十日町駅間は11月4日8:57発生の地震により運転見合わせしていたが、11:16点検終了し異常なし。16:08から運転再開 森宮野原駅～十日町駅間は11月11日から終日運転再開
	只見線	小出～只見	小出駅～只見駅間は11月20日始発から運転再開予定
	上越線	小出～宮内	小千谷駅～越後川口駅間でのり面崩壊、土砂流出 越後川口駅～北堀之内駅間で土砂崩壊、線路はしご状態 北堀之内駅～越後堀之内駅間で覆工崩落 水上駅～六日町駅間は11月2日6:15から運転再開 六日町駅～小出駅間は11月13日6:17から運転再開

○航空(11月19日 13:00現在)

1) 空港基本施設・航空保安施設の被害状況
無し

2) 定期旅客便の運休状況
無し

3) 臨時便の状況(10月24日から運航)

月 日	区 間	便 数	備 考
10月24日	羽田 — 新潟	4便	JAL2便、ANA2便
	伊丹 — 新潟	1便	ANA1便
10月25日	羽田 — 新潟	10便	JAL4便、ANA6便
	伊丹 — 新潟	2便	ANA2便
10月26日	羽田 — 新潟	17便	JAL6便、ANA11便
10月27日 ~ 10月28日	羽田 — 新潟	14便/日	JAL6便、ANA8便
10月29日 ~ 11月3日	羽田 — 新潟	16便/日	JAL8便、ANA8便
11月4日 ~ 11月5日	羽田 — 新潟	15便/日	JAL8便、ANA7便
11月6日 ~ 11月7日	羽田 — 新潟	16便/日	JAL8便、ANA8便
11月8日	羽田 — 新潟	15便	JAL8便、ANA7便
11月9日 ~ 11月24日	羽田 — 新潟	16便/日	JAL8便、ANA8便
11月25日	羽田 — 新潟	15便	JAL8便、ANA7便
11月26日 ~ 11月27日	羽田 — 新潟	16便/日	JAL8便、ANA8便
11月28日	羽田 — 新潟	15便	JAL8便、ANA7便
11月29日 ~ 11月30日	羽田 — 新潟	16便/日	JAL8便、ANA8便

※ 便数に関しては、片道を1便として計上。

※ 11月19日以降に関しては、19日13:00現在の予定。

※ 航空会社問い合わせ先

JAL国内線予約・案内 0120-25-5971 (有料)03-5460-0522 www.jal.co.jp
ANA国内線予約・案内 0120-029-222 (有料)0570-029-222 www.ana.co.jp

○港湾(11月19日 13:00現在)

1) 港湾施設の被害状況

- ・被害なし
- ・船舶による海上からの緊急物資等の受け入れ可能。
(連絡先:新潟県港湾課 025-285-5511)

2) 港湾局所管海岸保全施設の被害状況

- ・被害なし

○バス(11月19日 13:00現在)

- ・被害なし

・磐越道・東北自動車道経由で迂回運行していた新潟～東京間の高速バスは、10月30日から通常運行(北陸・関越道経由)。

・10月26日より、新潟～郡山間の高速バスを1日8往復(通常1日2往復)に増便し、「新幹線リレー号」として運行。(11月11日以降、9便に増便)

・関越自動車道長岡IC～小出ICの通行規制解除により、上越～東京(10月30日～)、新潟～十日町(10月29日～)の高速バスを運行。

・上越新幹線(長岡～燕三条間)の運転再開に伴い、11月4日から関越自動車道経由で長岡駅～越後湯沢駅間のみ代行輸送を行う。

運行系統	運行事業者	運行状況等
新潟万代バスセンター～池袋サンシャインシティプリンスホテル	新潟交通(株) 西武バス(株) 越後交通(株)	上下24便

新潟万代バスセンター ～ 郡山駅前	新潟交通(株) 福島交通(株)	上下18便
直江津 ～ 池袋サンシャインシティプリンスホテル	越後交通(株) 頸城自動車(株) 西武バス(株)	上下6便
新潟駅万代口 ～ 十日町車庫前	新潟交通(株) 越後交通(株)	新潟発6便 十日町発7便
長岡駅 ～ 越後湯沢駅	新潟交通(株) 越後交通(株) JR東日本(株)新潟支社 他12社	下り14便 上り15便

※バス事業者連絡先

- ・新潟交通(株) 電話(025)ー241ー9000
- ・西武バス(株) 電話(03)ー5910ー2525
- ・頸城自動車(株) 電話(025)ー545ー1212
- ・越後交通(株) 電話(0258)ー34ー3251
- ・福島交通(株) 電話(024)ー944ー5402
- ・JR東日本(株)新潟支社 電話(025)ー248ー5141

○物流対策の状況(11月19日 13:00現在)

- ・被災地域等への緊急救助物資の輸送。39都府県のトラック協会が合計671台使用。
- ・被災市町村における援助物資の被災者への円滑な輸送を目的とする「物流専門家派遣事業」の実施。長岡市3名、小千谷市 3名
- ・新潟県庁の被災地向け緊急援助物資の輸送について、新潟県トラック協会及び大手物流事業者が全面的に協力することを決定。(10/31)
- ・中、長期的な救援体制を整えるため、新潟市内に救援物資の集積所(「新潟県救援物資配送センター」)を整備し、配送体制を発足。集積所(9カ所、3693㎡)の確保が完了。(11/2)
- ・新潟県トラック協会より県対策本部に対して4tトラック3台を無償提供にて常駐派遣。(11/2)

○海上交通の状況(11月19日 13:00現在)

被害なし

○観光の状況(11月19日 13:00現在)

○登録ホテル・旅館

都道府県名	市町村名	施設数	被害概況
新潟県	長岡市	ホテル 5軒 旅館 1軒	・人的被害:なし ・水道管破裂、外壁の薄利、テレビ・冷蔵庫等の転倒等あり ・蓬平温泉への宿泊客は全員当該地区から退避
		六日町	旅館 5軒
	上越市	ホテル 5軒	・人的被害:なし
	松之山町	旅館 1軒	・人的被害:なし

○旅行者の状況

第1種旅行業者(国土交通大臣登録)の主催旅行に参加した旅行者の被害情報なし

○下水道施設の被害状況(11月19日13:00現在)

種別	管理者名	処理場	管きよ	計
流域下水道	県	1箇所	4箇所	5箇所
公共下水道	市町村 (9市9町3村)※	8箇所	28箇所	36箇所
合計		9箇所	32箇所	41箇所

※長岡市、柏崎市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、栃尾市、魚沼市、南魚沼市、
分水町、越路町、三島町、与板町、出雲崎町、川西町、小国町、西山町、松代町、
弥彦村、和島村、浦川原村

○公園施設の被害状況(11月19日13:00現在)

管理者名	箇所数	施設名
国	1	国営越後丘陵公園(長岡市)
県	3	奥只見レクリエーション都市公園 (小出地域、須原地域、道光・根小屋地域)
分水町	1	国上健康の森公園
魚沼市	3	小出公園 等
長岡市	4	悠久山公園 等
十日町市	11	大井田の郷公園 等
越路町	1	越路町河川公園
中之島町	2	刈谷田公園 等
三島町	1	三島町中央公園
小千谷市	4	やすらぎ公園 等
川西町	1	松葉沢公園 等
合計	32	

○その他都市施設の被害状況(11月19日13:00現在)

市町村名	箇所数	施設名
川口町	1	蒼丘の杜公園
柏崎市	1	長峰団地公園
十日町市	7	十日町駅前広場 等
長岡市	10	長岡市希望が丘テニスコート 等
中之島町	2	中之島町野球場 等
魚沼市	1	須原スキー場
越路町	1	もみじ園
小千谷市	3	船岡公園等
合計	26	

○官庁施設 (19日 13:00現在)

・被害のあった官庁施設 24施設

※うち14施設については、官庁営繕部にて復旧等の対応

○ライフライン関係

電力(停電) 約1,650戸 (11/18 12:00) 東北電力

ガス(供給支障) 約6,300戸 (11/18 9:00)

水道(断水) 2,420戸 (11/18 12:00)

通信・放送(不通) 1,200回線 (11/17 16:00) NTT東日本

下水道(使用不能) 約240世帯 (11/19 13:00)

6. 人的被害(消防庁調 11月19日 9:00現在)

都道府県名	人的被害			住家被害		
	死者	行方不明者	負傷者	全壊	半壊	一部破損
	人	人	人	棟	棟	棟
新潟県	40	0	2,858	2,499	4,801	43,566
長野県			3			
埼玉県			1			
福島県						1
群馬県			6			650
計	40	0	2,868	2,499	4,801	44,217

問合せ先:河川局防災課災害対策室 水落

代表: 5253-8111 内線35-822

直通: 5253-8461